

- このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味

**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号

**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>

**警告**

- 門扉は人や車の出入りする場所に設置するものです。使用用途・目的を踏まえた上で必ず安全な場所に設置してください。特に開閉時の扉が公道（道路面）に飛び出さないようにしてください。

**注意**

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 指定寸法は必ず守ってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 器具天面から200mm以内に障害物がないように取付けてください。障害物があるとランプ交換が出来なくなります。

<施工上のご注意>

**注意**

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 寒冷地では、門柱に水抜き孔をあけてください。
- 施工終了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。
- 器具を分解・改造したり、部品の交換をしないでください。火災・感電・落下によるケガの原因になります。
- ランプは器具表示のものを使用してください。間違った種類・ワット数のランプを使用すると火災の原因になります。

<吊元門柱の躯体付けについて>

ポイント

- 105角吊元門柱の施工では、必ず躯体（コンクリート壁など）を併設し、その躯体に固定してください。大型で重量のある門扉では、門柱のゆれが大きくなり開閉に支障がでる可能性があります。

<基礎工事について>

注意

- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- 基礎部の埋込み深さは製品ごとに決まっていますが、現場によって（堅牢な地盤、軟弱な地盤など）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。
- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は、非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

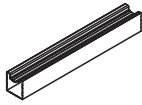
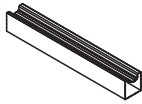
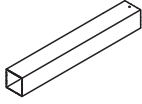





<電気配線工事について>

注意






- AC100Vの電線の埋設工事、配線作業に関しては、電気工事店の有資格者に依頼してください。
- AC100Vの用の照明器具は、D種接地工事を行なってください。
- 照明用配線にはVVFφ1.6またはφ2.0の3芯単線（アース線を含む）を準備してください。
- 「EEスイッチ」、「熱線センサ」または「入切スイッチ」を別途設けてください。スイッチを設けないと電源をOFFにできません。
- 柱内部には、松下電工製CD管 呼び16（内径φ16、外径φ22）を使用しています。家側からの配管はPF管 呼び16を使用してください。
- 機器に接触する電圧、極性を間違えないでください。故障の原因になります。

■梱包明細表

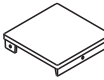

【1】門柱

名称	略図	員数	
		右用	左用
照明門柱吊元柱（右用）		1	—
照明門柱吊元柱（左用）		—	1
受門柱（1本入り）		1	1
調整金具（上）右用		1	—
調整金具（上）左用		—	1
調整金具（下）右用		1	—
調整金具（下）左用		—	1
ワッシャー		2	2

【1】門柱（つづき）




名称	略図	員数	
		右用	左用
【1-1】 M5×20十字穴付き六角ボルト（Wセムス）		8	8
【1-2】 S6フィッシャープラグ		2	2
【1-3】 φ4×35ナベタッピンネジ		2	2
【1-4】 M4（外径25）平座金		2	2
【1-5】 φ12プッシュボタン		2	2
取付説明書（A456）	—	1	1

【2】門柱キャップA

名称	略図	員数
門柱キャップA		1
【2-1】 M4×12サラ小ネジ（D=6）		3

【3】吊元金具カバー

オプション

名称	略図	員数
吊元金具カバー		1
カバー取付台座		5
溝カバー		1

【4】 門柱キャップB (吊元金具カバー取付専用品) **オプション** 【7】 照明セット

名 称	略 図	員 数
門柱キャップB		1
切欠き保護金具		2
【4-1】 φ4×13ナベドリルネジ		15
【4-2】 φ4×10サラタッピンネジ (D=6)		2
【4-3】 M4×12サラ小ネジ (D=6)		3

【5】 柱延長金具 **オプション**

名 称	略 図	員 数
柱延長金具		2
【5-1】 M5×15ナベ小ネジ		6

【6】 補助アンカー棒 **オプション**

名 称	略 図	員 数
補助アンカー棒		2

名 称	略 図	員 数
照明グローブ		1
グローブカバー		1
パッキン		1
LED電球 [T形(電球色)、60形相当 E26]		1
【7-1】 φ4×10トラスタッピンネジ3種		2
【7-2】 φ4×14すりわり付丸サラタッピンネジ3種		8 ※1

※1 生地色とブロンズ色の各4個入 (予備各1個含む) です。門柱の色に合わせて使用してください。

【8】 照明門柱用すきまガード

名 称	略 図	員 数
すきまガード		1
すきまガード取付材		1
【8-1】 φ4×10ナベドリルネジ		6
【8-2】 φ4×10トラスタッピンネジ3種		4

1. 基本寸法と各部名称 ※図は、H16の場合を示します。

1-1 片開き仕様

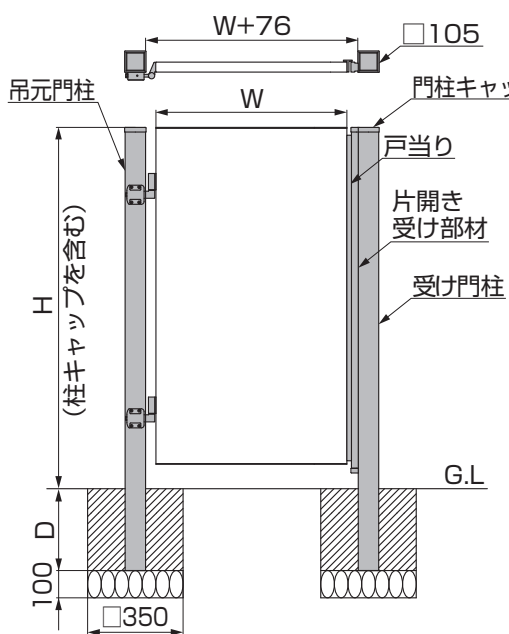


図1-1 受け門柱を使用する場合

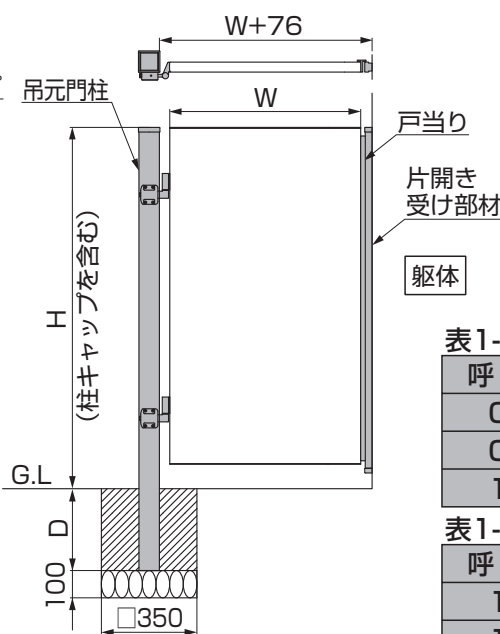


図1-2 受け門柱を使用しない場合

表1-1

呼 称	W
08	800
09	900
10	1000

表1-2

呼 称	H	D
14	1490	400
16	1690	400
18	1890	400

1. (つづき)

1-2 両開き仕様

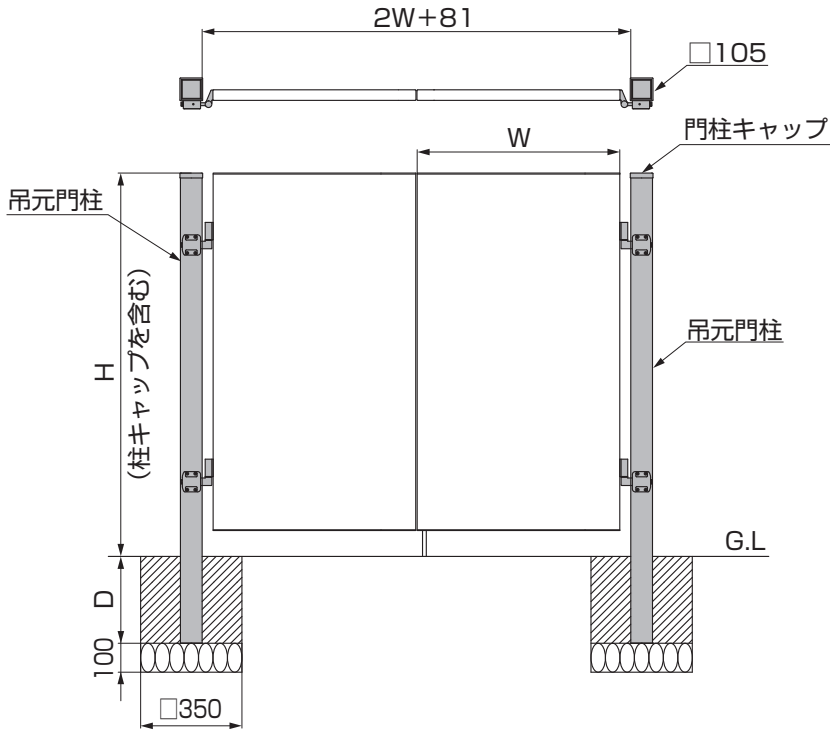


表1-3

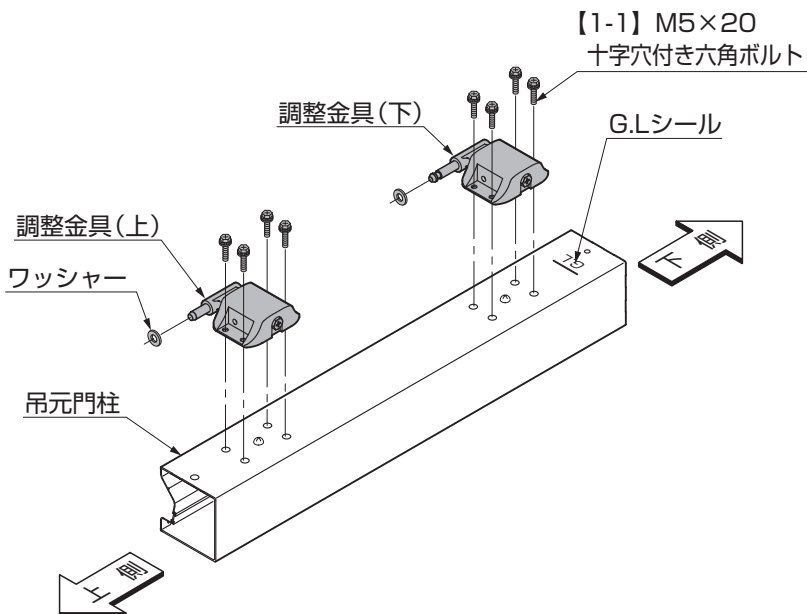
呼称	W
05	500
08	800
09	900
10	1000

表1-4

呼称	H	D
14	1490	400
16	1690	400
18	1890	400

2. 埋込み前の準備

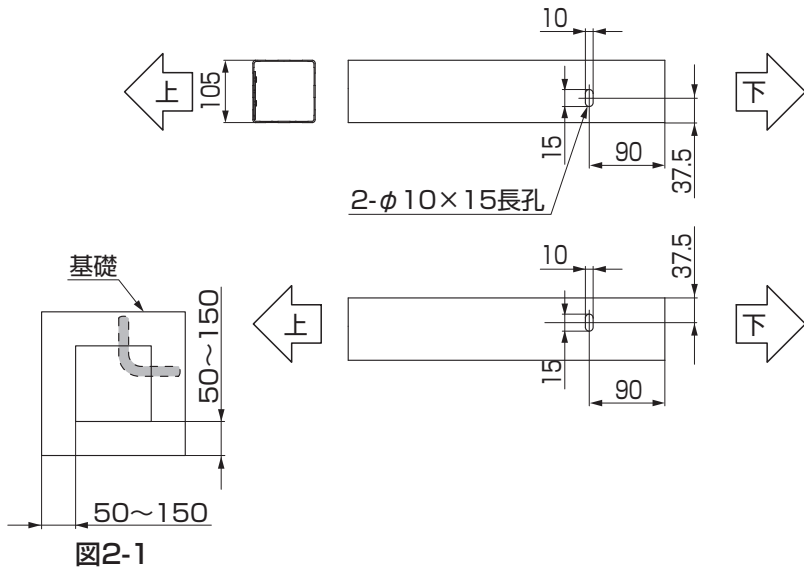
2-1 吊元柱への調整金具の取付け



①吊元門柱に調整金具(上)と調整金具(下)を【1-1】で固定してください。

2. (つづき)

2-2 補助アンカーを取付ける場合 オプション



補足

- 柱から基礎端部までの距離が50mm～150mmになる場合に実施してください。(図2-1参照)

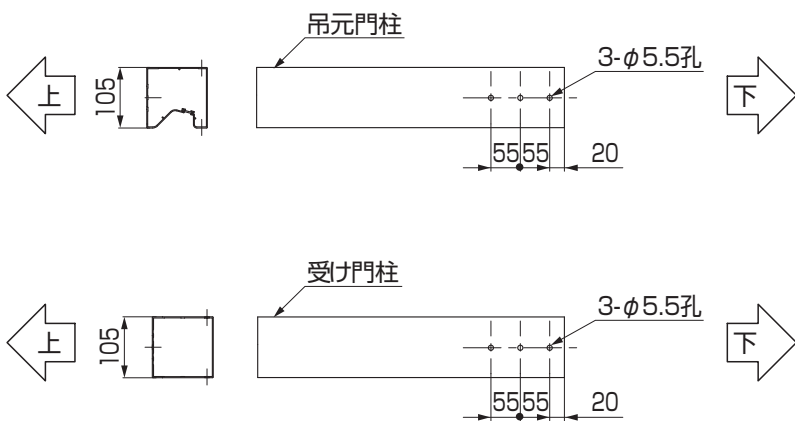
- ① 補助アンカーを取付ける面にφ10×15長孔を現場加工してください。

ポイント

- 隣り合う2面に加工してください。(図2-1参照)

2-3 柱延長金具を取付ける場合 オプション

(1) 門柱の加工



補足

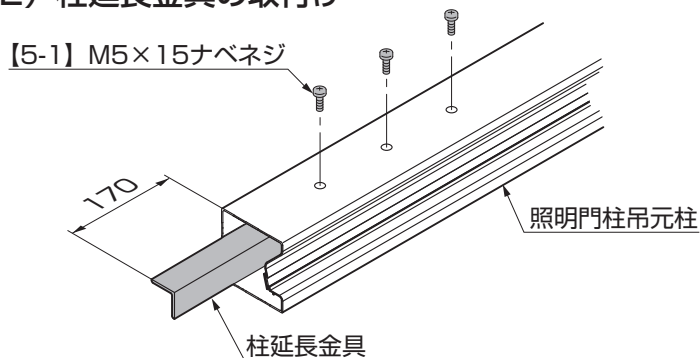
- インターロッキング等の床材厚さの影響で柱埋込み深さが300mm以下になる場合に実施してください。

- ① 柱延長金具を取付ける面に図のようにφ5.5の孔を現場加工であけてください。

ポイント

- 吊元門柱には調整金具をつける反対面に孔あけ加工をしてください。
- 受け門柱には、柱上部に柱キャップ取付孔の無い面に孔あけ加工をしてください。

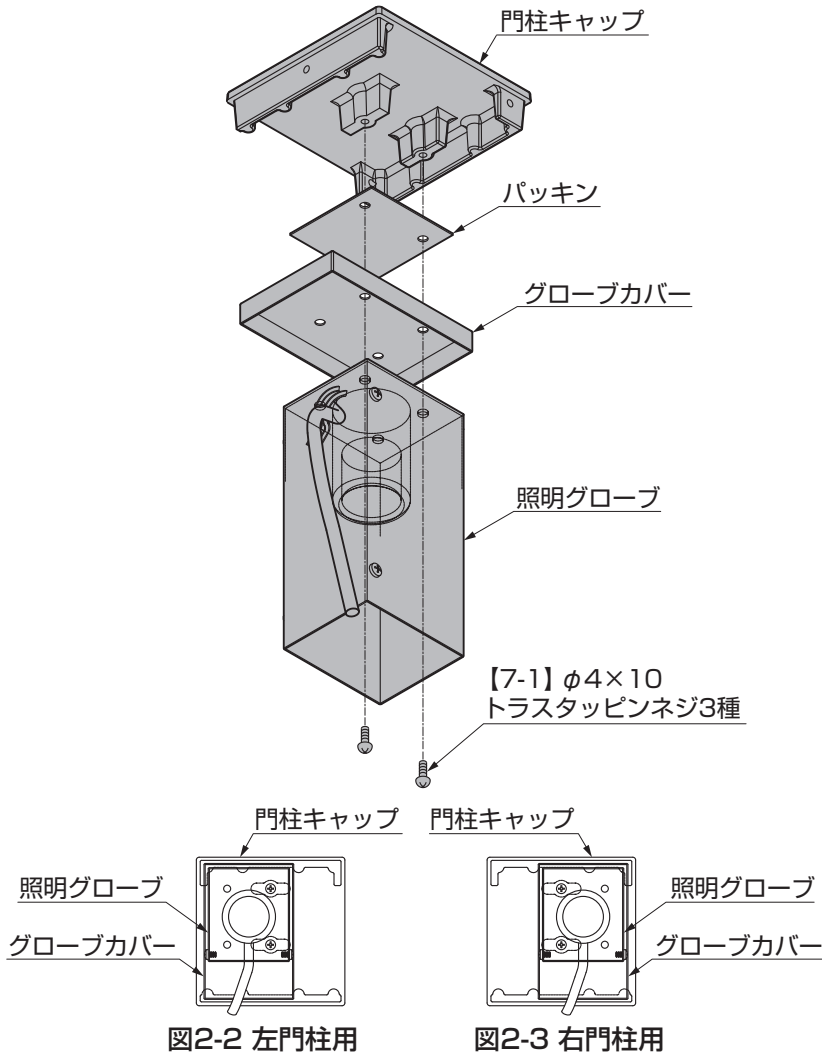
(2) 柱延長金具の取付け



- ① 門柱に柱延長金具を【5-1】で固定してください。

2. (つづき)

2-4 照明セットの取付け ※図は門柱キャップAの作業です。門柱キャップBも同様の作業です。※図は照明グローブ側から見た図を示します。

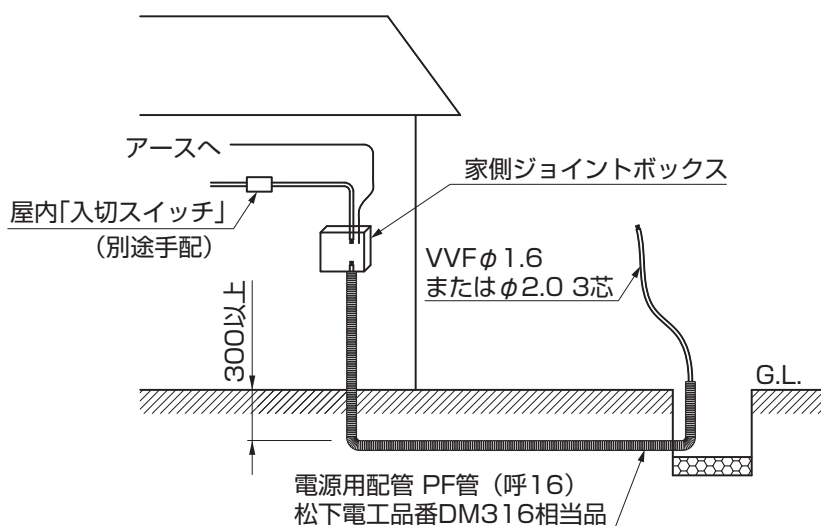


- ①門柱キャップに照明グローブを【7-1】で固定してください。

ポイント

- 門柱には左右があります。使用する柱にあわせ照明グローブを取付けてください。(図2-2、図2-3参照)
- 柱キャップと照明グローブの間に必ず同梱の柱パッキンを入れてください。パッキンは柱の左右に合わせて向きを変えてください。
- 締め付けが不十分の場合、落下の原因になります。十分に締め付けてください。
- 照明グローブを門柱キャップに取付時に配線を挟まないようにご注意ください。

3. 配線工事



- ①基礎孔を掘り、栗石を敷いてください。

- ②照明用の配線配管をしてください。

ポイント

- 「EEスイッチ」、「熱線センサ」または「入切スイッチ」を必ず設けてください。スイッチを設けないと電源をOFFにできなくなります。

4. 門柱の埋込み

4-1 門柱の埋込み ※図中のH・Wは「1.基本寸法と各部の名称」を参照してください。

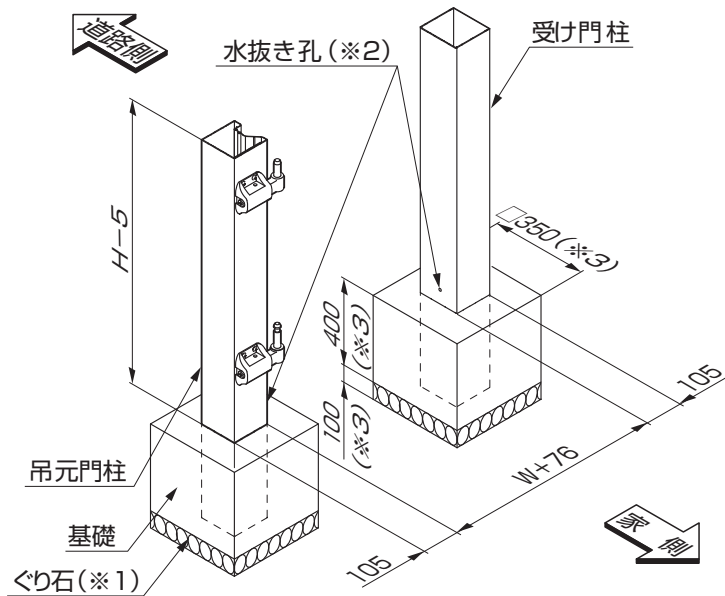


図4-1 片開き

- ①門柱内のCD管に通してある針金を使って、照明用配線を引き出してください。
- ②照明用配管、PF管と門柱内のCD管をPFアダプターで連結してください。
- ③門柱を施工図に従いコンクリートで固定してください。

ポイント

- PF管およびPFアダプターは、市販品を別途お買い求めください。
- 養生中は門柱内に雨水等が入らないようにしてください。

ポイント

- 門柱は、垂直を出してから固定してください。

補足

- 門柱の基礎は、基礎下に100mm厚のぐり石を施工等で水が抜ける構造にしてください。(※1)
- やむをえず水が抜けにくい構造になった場合はG.L面より5mm程度上部の柱側面内側にφ5の水抜き孔をあけてください。(※2)
- 基礎寸法は指定寸法以上にしてください。(※3)
- 落とし棒受けの取付け位置は門扉本体の取付説明書を参照してください。

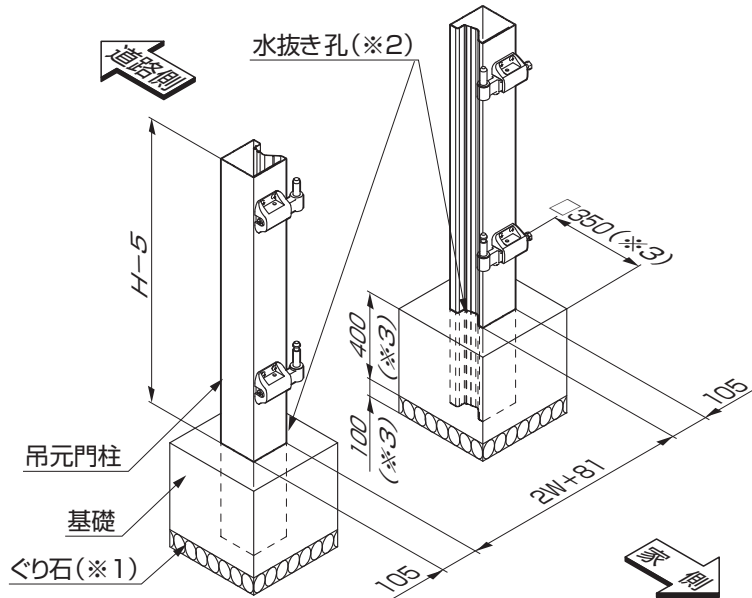
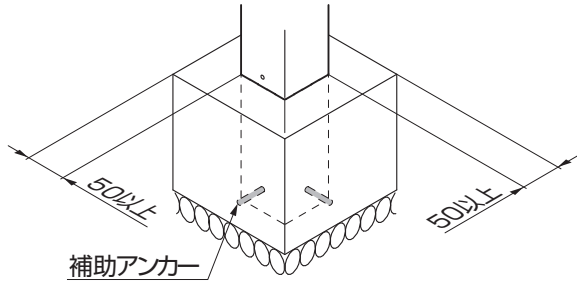


図4-2 両開き

4. (つづき)

4-2 補助アンカーの場合 オプション

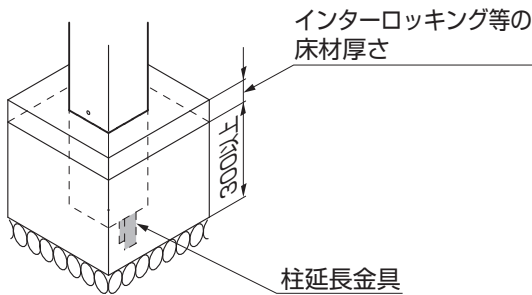


- ① 門柱に補助アンカーを通し、固定してください。

⚠ 注意

- 安全の為門柱と基礎端部との寸法は必ず50mm以上確保してください。柱が倒れるおそれがあります。

4-3 柱延長金具の場合 オプション



- ① 基礎孔を掘り、門柱を建込んで固定してください。

⚠ 注意

- 安全の為基礎の深さは必ずインターロッキング等の床材厚さの下端から300mm以上確保してください。柱が倒れるおそれがあります。

5. 吊元門柱の躯体付け

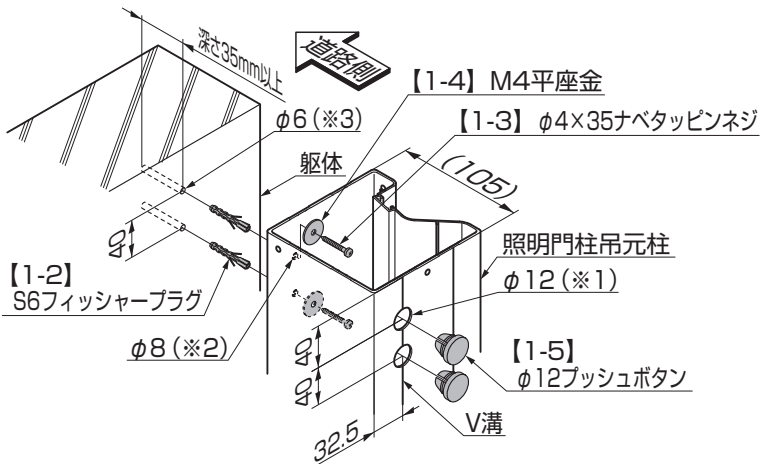


図5-1 (躯体に) 門柱を後ろ付けする場合

- ① 門柱にφ12(※1)とφ8(※2)、躯体の同じ位置にφ6(※3)の孔をあけてください。
- ② 躯体のφ6の孔に【1-2】をはめ、門柱を【1-3】、【1-4】で固定してください。
- ③ 門柱のφ12の孔に【1-5】をはめてください。

🔑 ポイント

- 躯体への孔あけは、躯体に合わせた専用ドリルを使用してください。
- 【1-3】、【1-4】の取付けでは、有効長が105mm以上のドライバー用ビットを使用してください。
- 【1-2】、【1-3】で躯体に取付ける際は、必要によってシーリングを施してください。

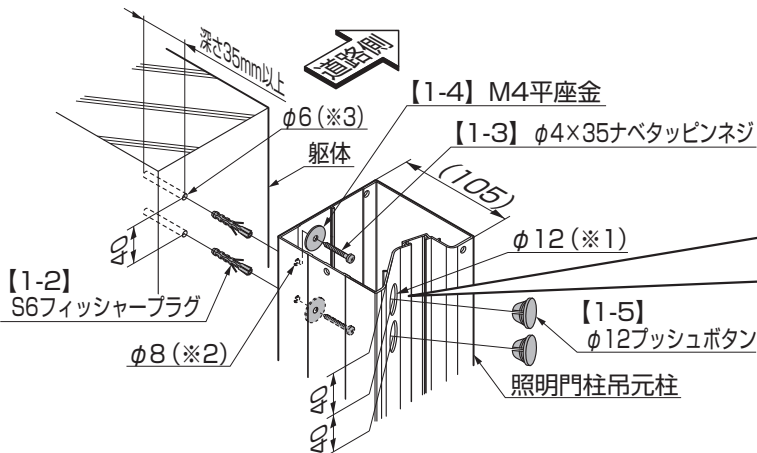
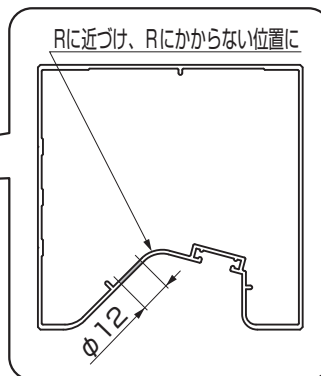
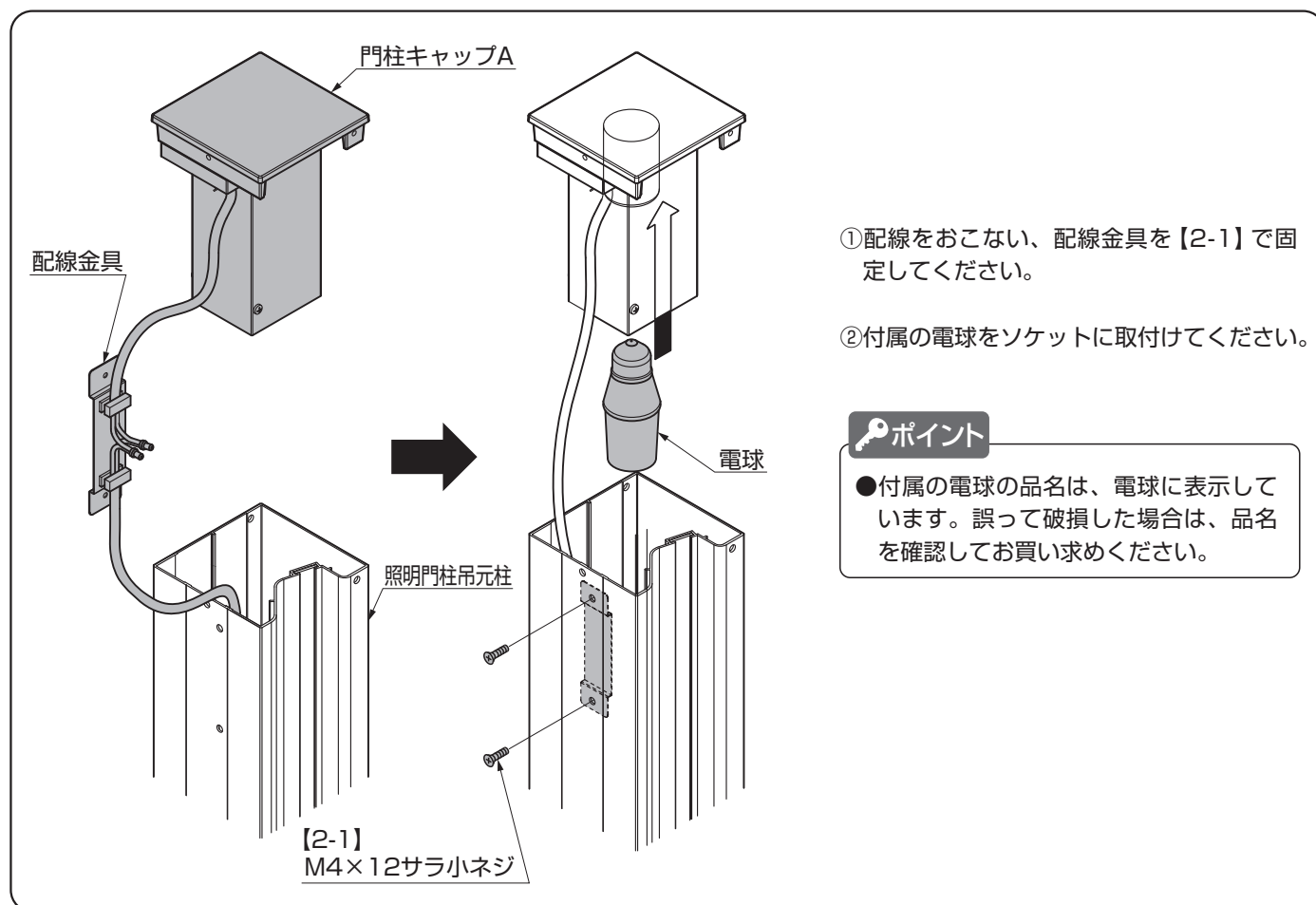


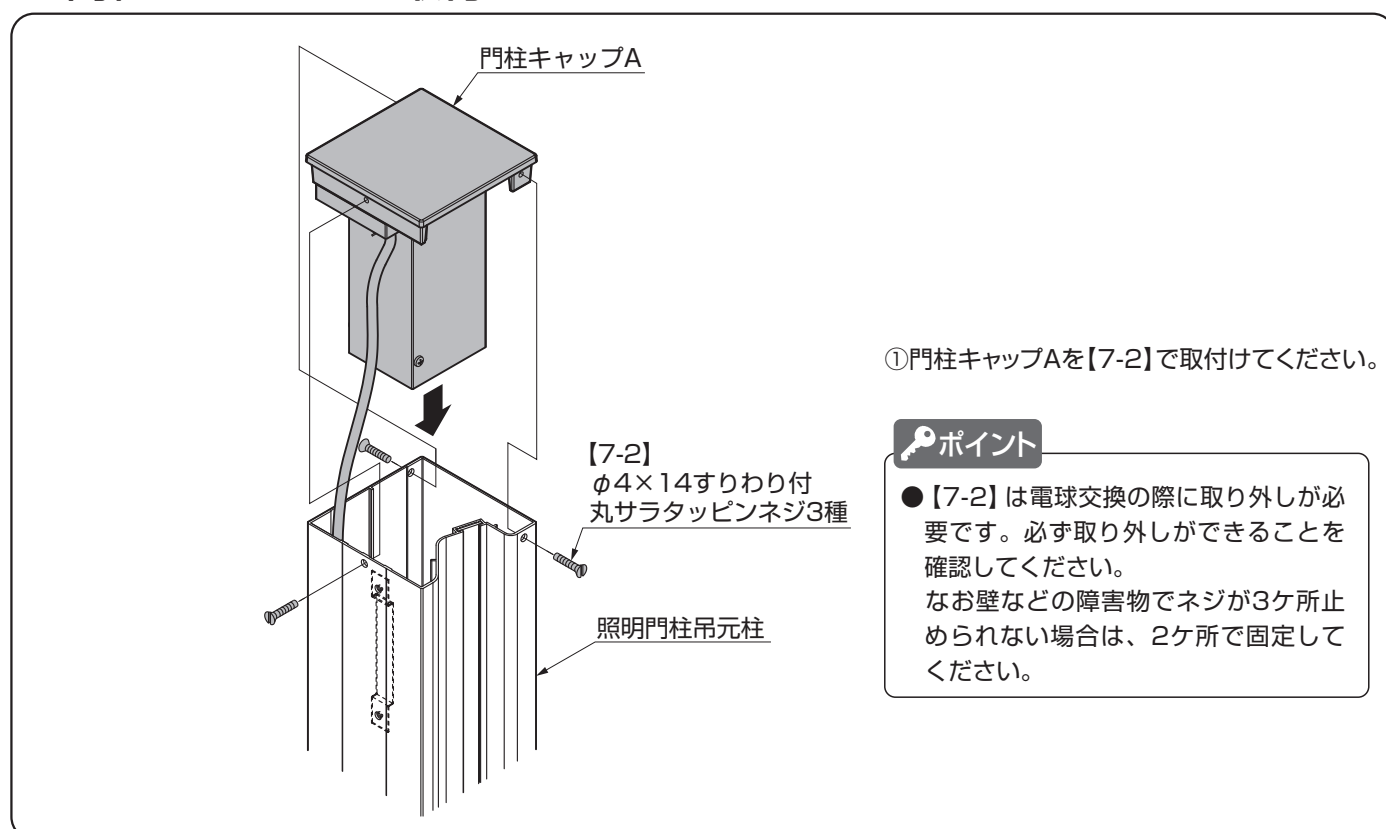
図5-2 (躯体に) 門柱を横付けする場合



6. 配線 ※図は門柱キャップAの作業です。門柱キャップBも同様の作業です。



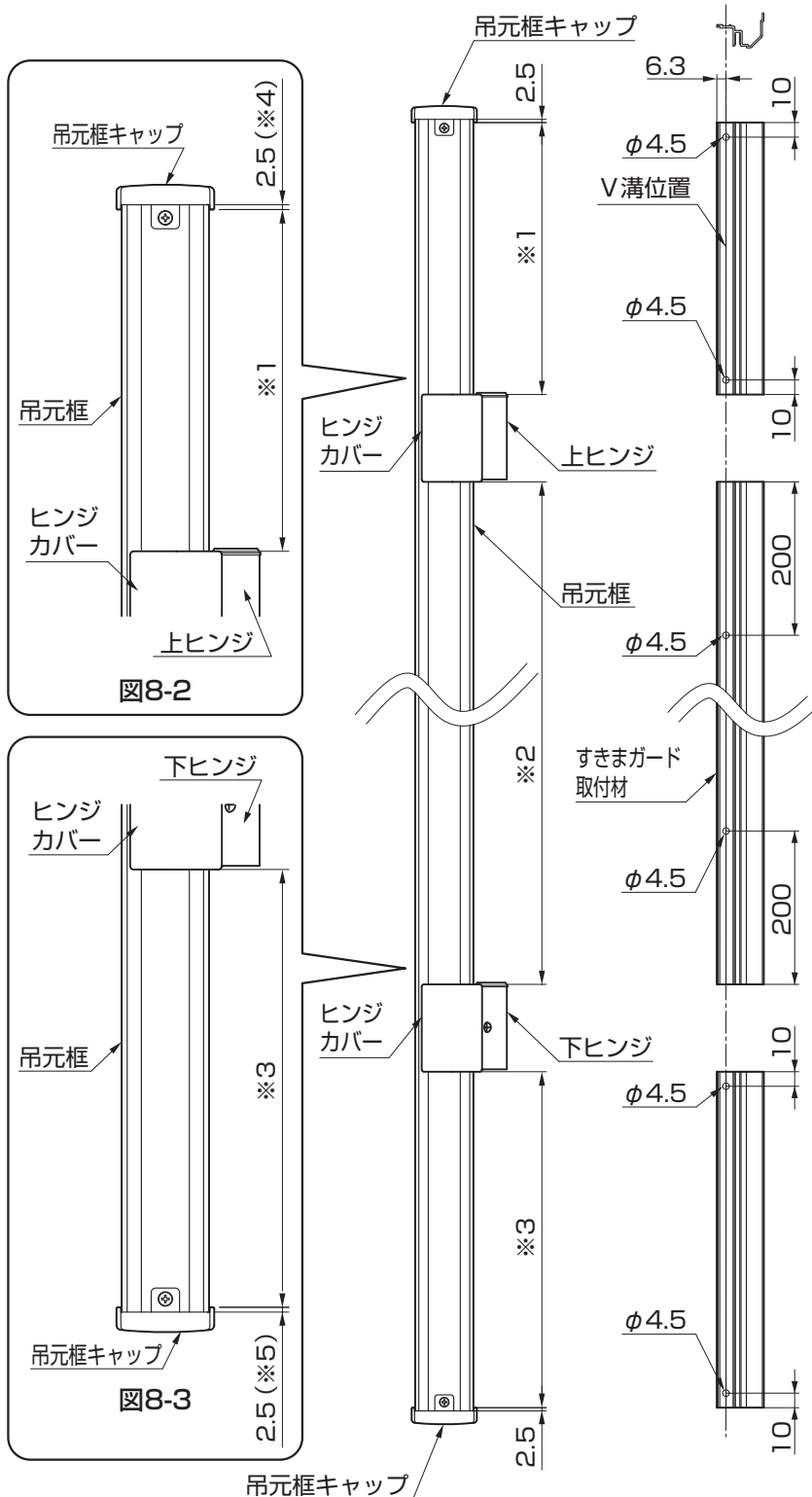
7. 門柱キャップAの取付け



8. 照明門柱用すきまガードの取付け

8-1 すきまガード取付材の前加工

(1) 通常門扉の場合 ※タッチ&ノータッチキー門扉(掛扉)以外の場合です。



ポイント

●あらかじめ門扉取付説明書を参照して、門扉の吊り込み・ヒンジと調整金具での各寸法調整・ヒンジカバーの取付けを行ってください。

① ※1、※2、※3の長さに合わせて、すきまガード取付材を切断して、 $\phi 4.5$ の孔をあけてください。
(図8-1、図8-4参照)

補足

● ※1、※3は
[吊元枠キャップからヒンジカバーまでの距離] - 2.5mmです。
(図8-2の※4、図8-3の※5参照)
※2は
[ヒンジカバー間の距離] です。

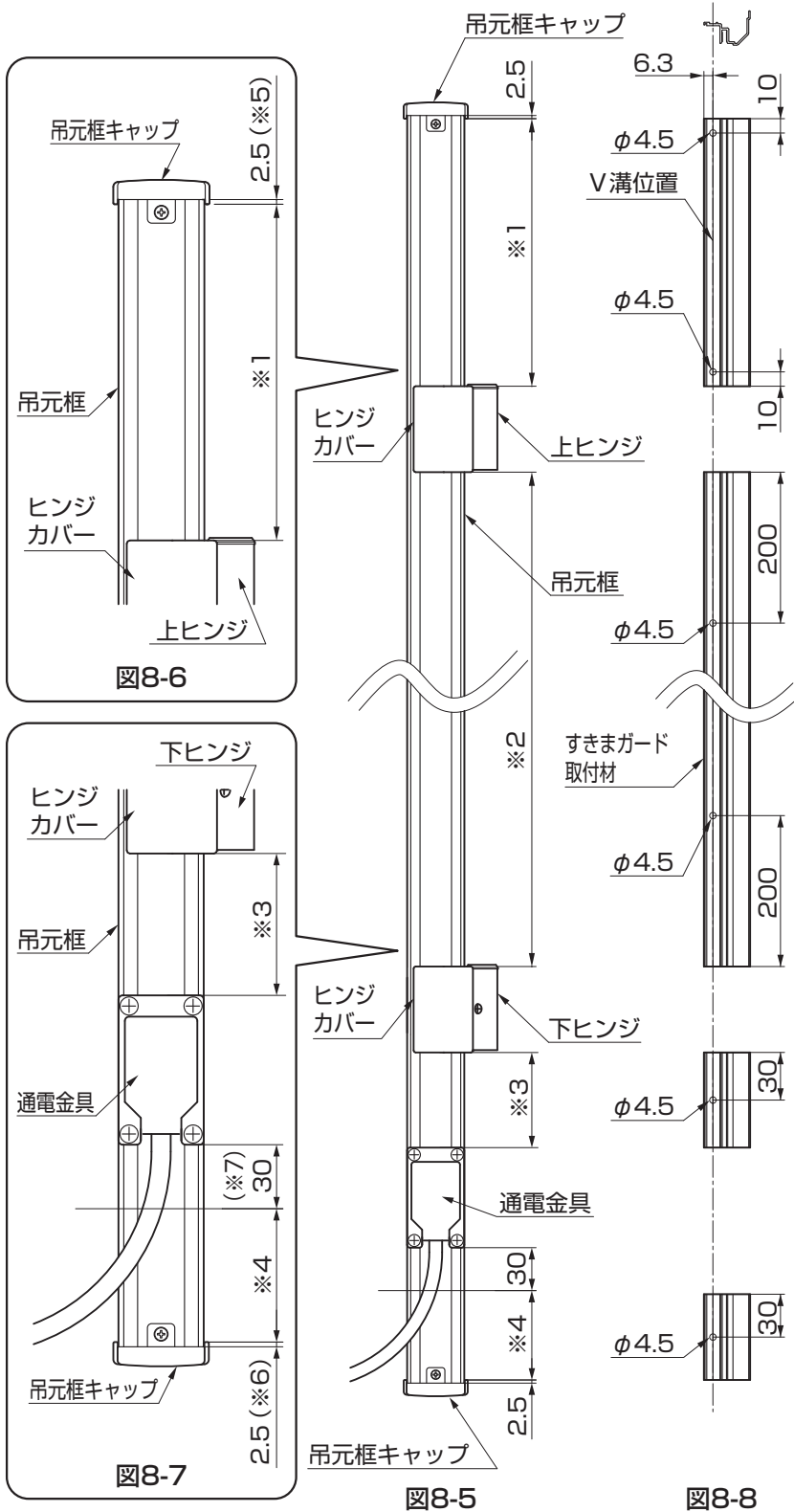
ポイント

●オートクローザーの場合は、「オートクローザー」に梱包している取付説明書(A454)を参照して、オートクローザーを取付けた後、同様の手順となります。
(ヒンジ、ヒンジカバー部分が、オートクローザー本体になります。)

図8-1

図8-4

(2) タッチ&ノータッチキー門扉(掛扉)の場合



ポイント

●あらかじめ門扉取付説明書を参照して、門扉の吊り込み・ヒンジと調整金具での各寸法調整・ヒンジカバーの取付けを行ってください。

①※1、※2、※3、※4の長さに合わせて、すきまガード取付材を切断して、φ4.5の孔をあけてください。
(図8-5、図8-8参照)

補足

●※1は
[吊元框キャップからヒンジカバーまでの距離] - 2.5mmです。
(図8-6の※5参照)
※2は
[ヒンジカバー間の距離] です。
※3は
[ヒンジカバーから通電金具までの距離] です。
※4は
[吊元框キャップから通電金具までの距離] - 32.5mmです。
(図8-7の※6、※7参照)

ポイント

●オートクローザーの場合は、「オートクローザー」に梱包している取付説明書(A454)を参照して、オートクローザーを取付けた後、同様の手順となります。
(ヒンジ、ヒンジカバー部分が、オートクローザー本体になります。)

8. (つづき)

8-2 すきまガード取付材の取付け

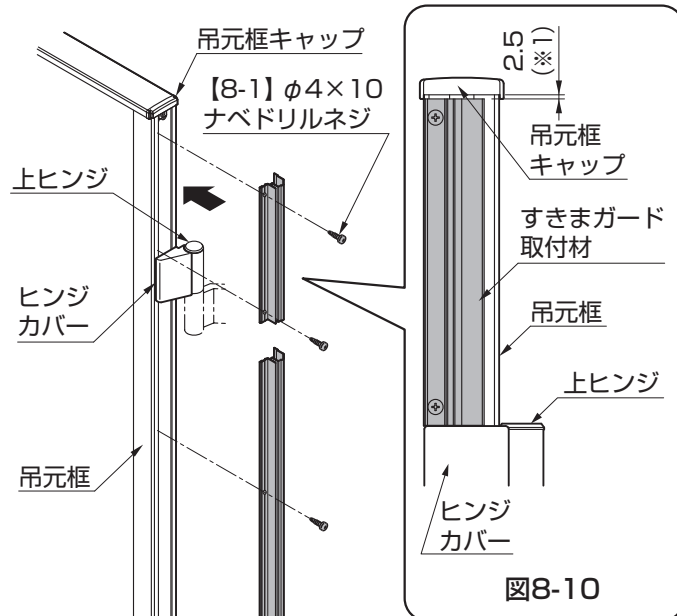


図8-9

- ① すきまガード取付材を【8-1】で取付けてください。
(図8-9、図8-13参照)

ポイント

- タッチ&ノータッチキー門扉(掛扉)の場合は、下部のすきまガード取付材の取付け方法が異なりますので、図7-12を参照して組付けてください。
- すきまガード取付材は吊元框キャップから2.5mm離して取付けてください。
(図8-10の※1、図8-11の※2、図8-12の※3参照)

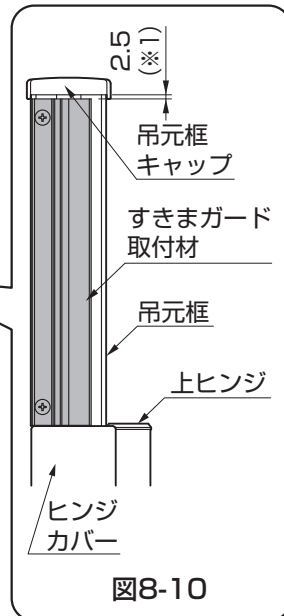


図8-10

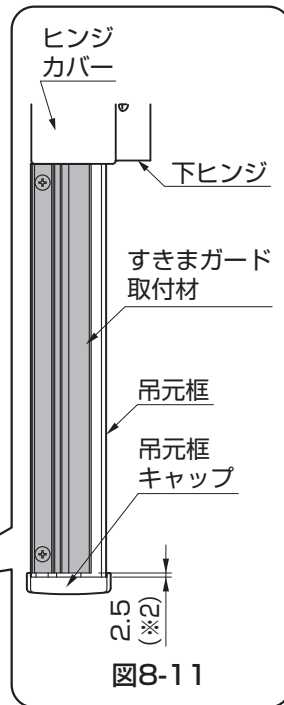


図8-11

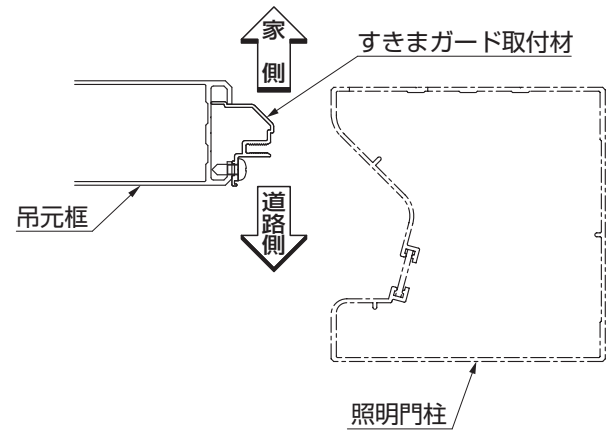


図8-13

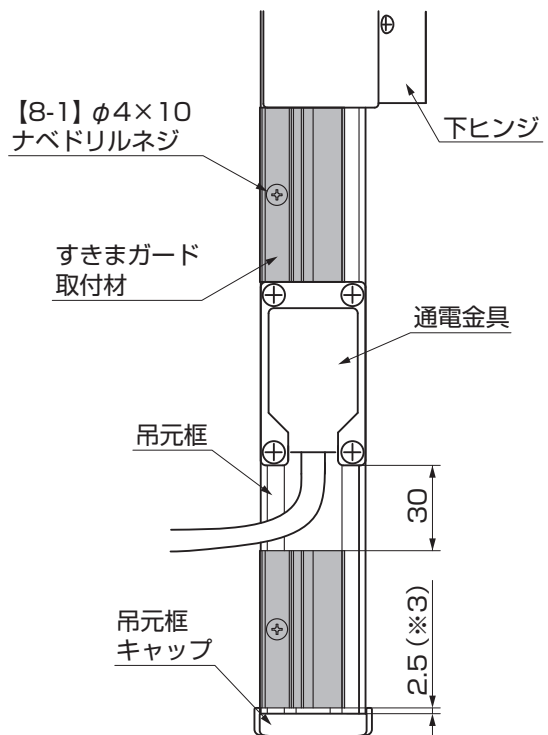
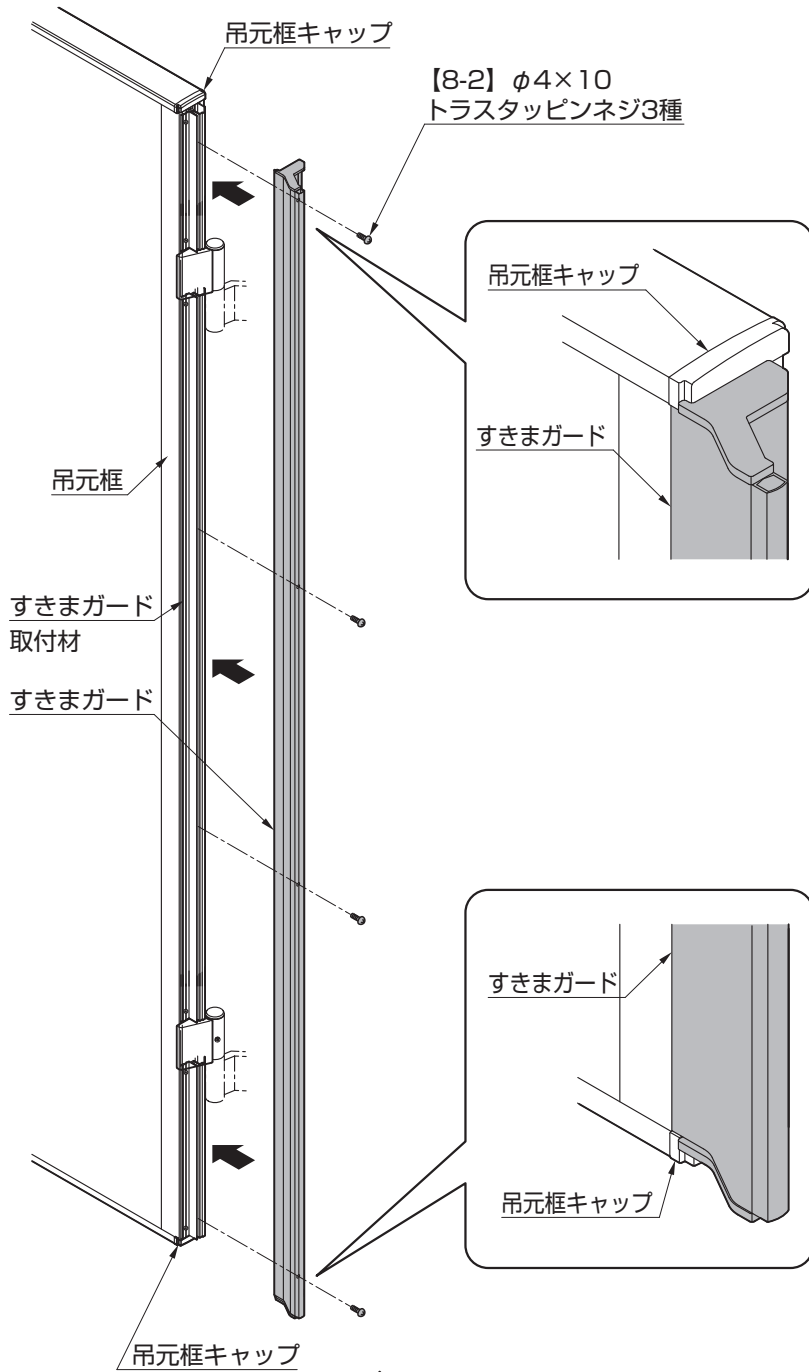


図8-12

タッチ&ノータッチキー門扉(掛扉)の場合

8-3 すきまガードの取付け



①すきまガードを【8-2】で取付けてください。
(図8-14、図8-15参照)

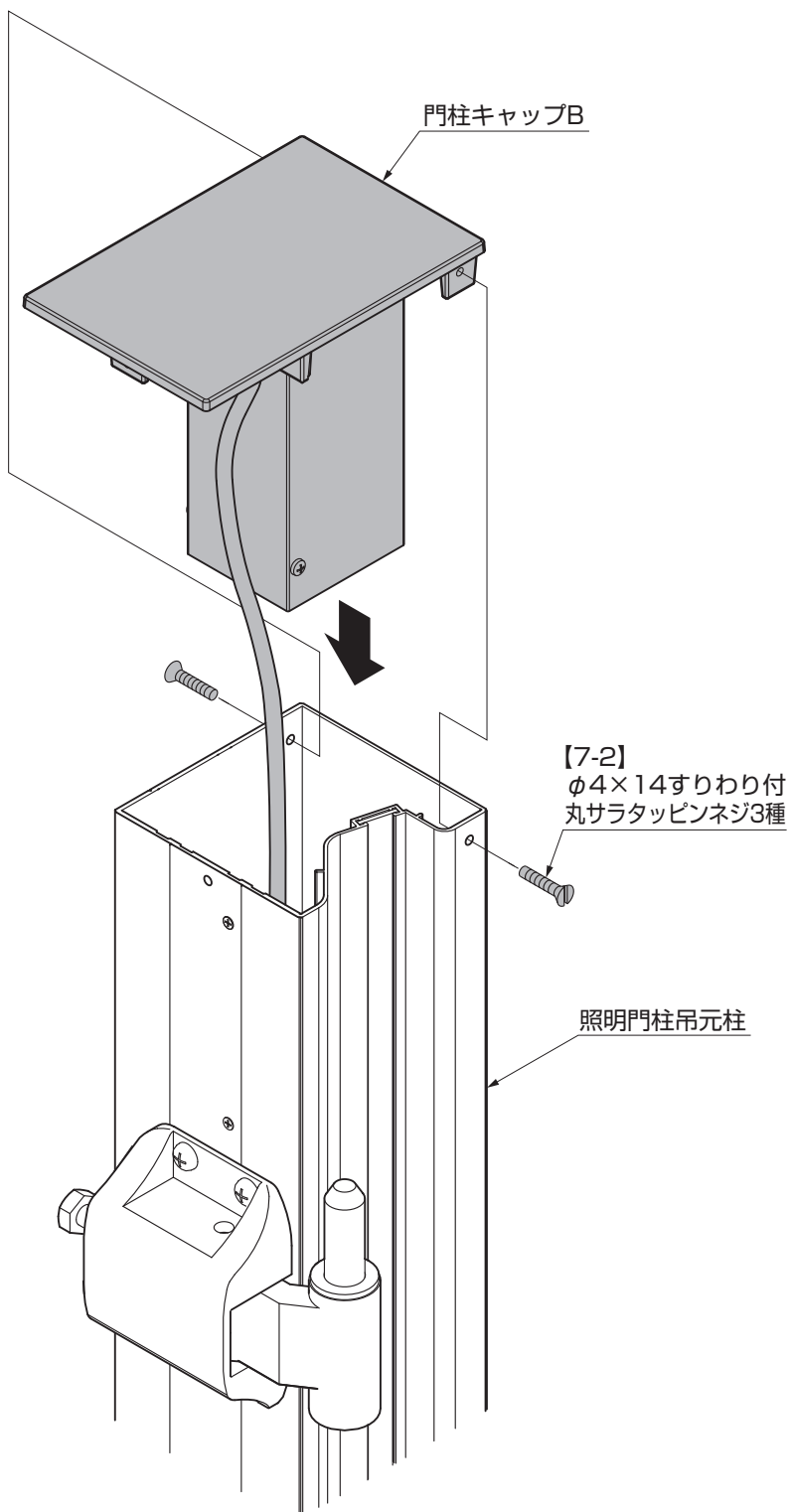
図8-14



図8-15

9. 吊元金具カバーの取付け **オプション**

9-1 門柱キャップBの取付け



ポイント

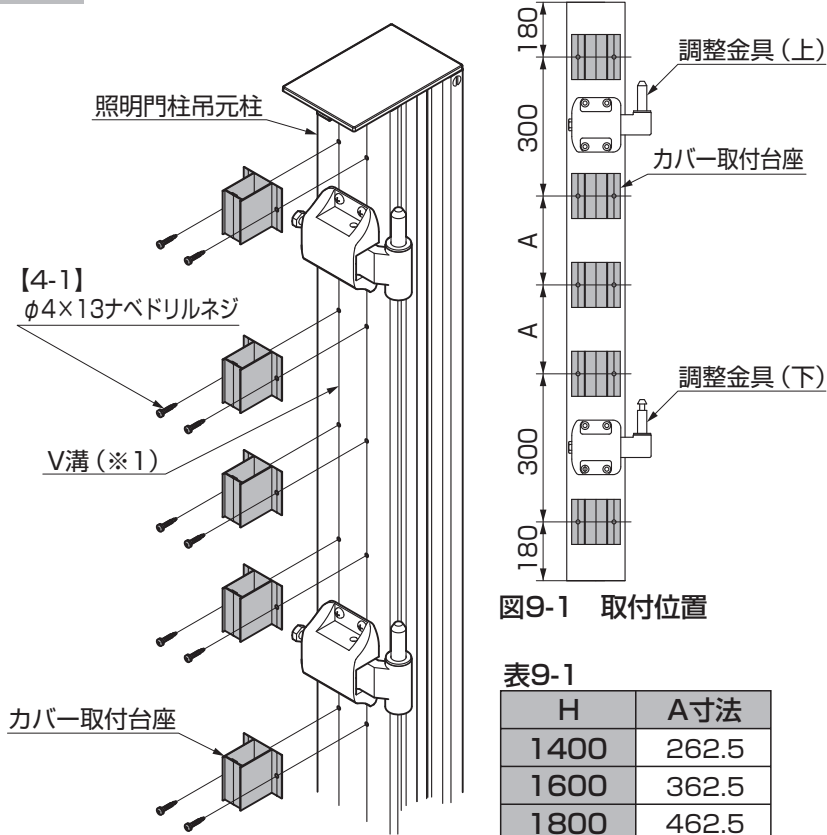
- 「2-4 照明セットの取付け」を参照し門柱キャップBに照明グローブを取付けてください。
また「5.配線」を参照し配線金具を取付けてください。

①門柱キャップBを【7-2】で取付けてください。

ポイント

- 【7-2】は電球交換の際に取り外しが必要です。必ず取り外しができることを確認してください。
なお壁などの障害物でネジが2ヶ所止められない場合は、1ヶ所で固定してください。

9-2 カバー取付台座の取付け



①門柱にカバー取付台座を【4-1】で取付けてください。

ポイント

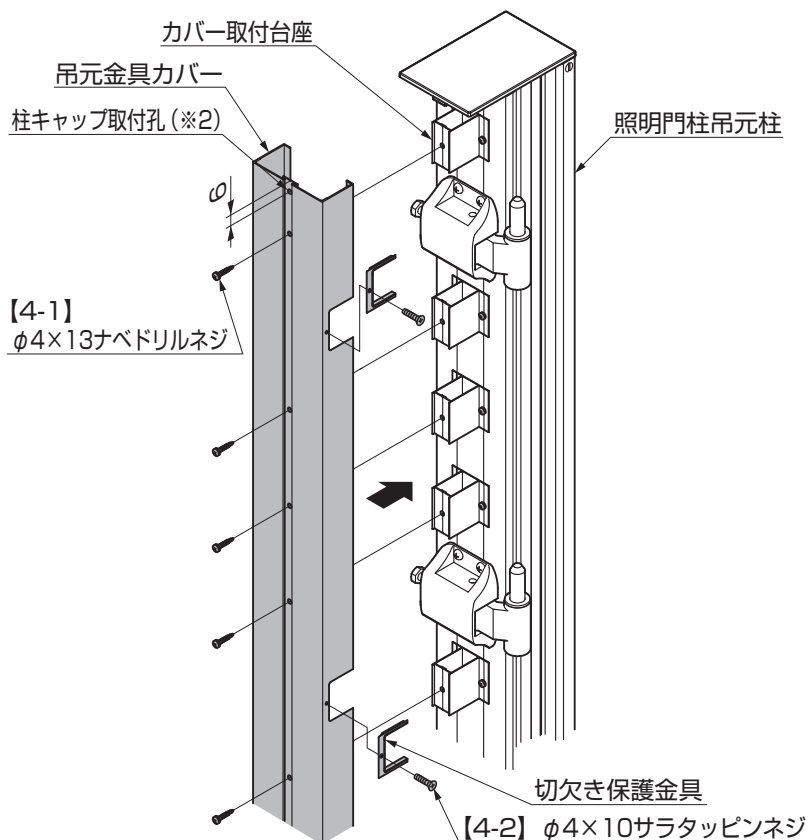
●カバー取付台座は取付孔を吊元柱のV溝(※1)に合わせて取付けてください。

図9-1 取付位置

表9-1

H	A寸法
1400	262.5
1600	362.5
1800	462.5

9-3 吊元カバーの取付け



①吊元カバーを【4-1】でカバー取付台座に取付けてください。

ポイント

●門扉の吊り込み調整後に行ってください。なお詳細は門扉取付説明書の調整金具の調整方法を参照してください。

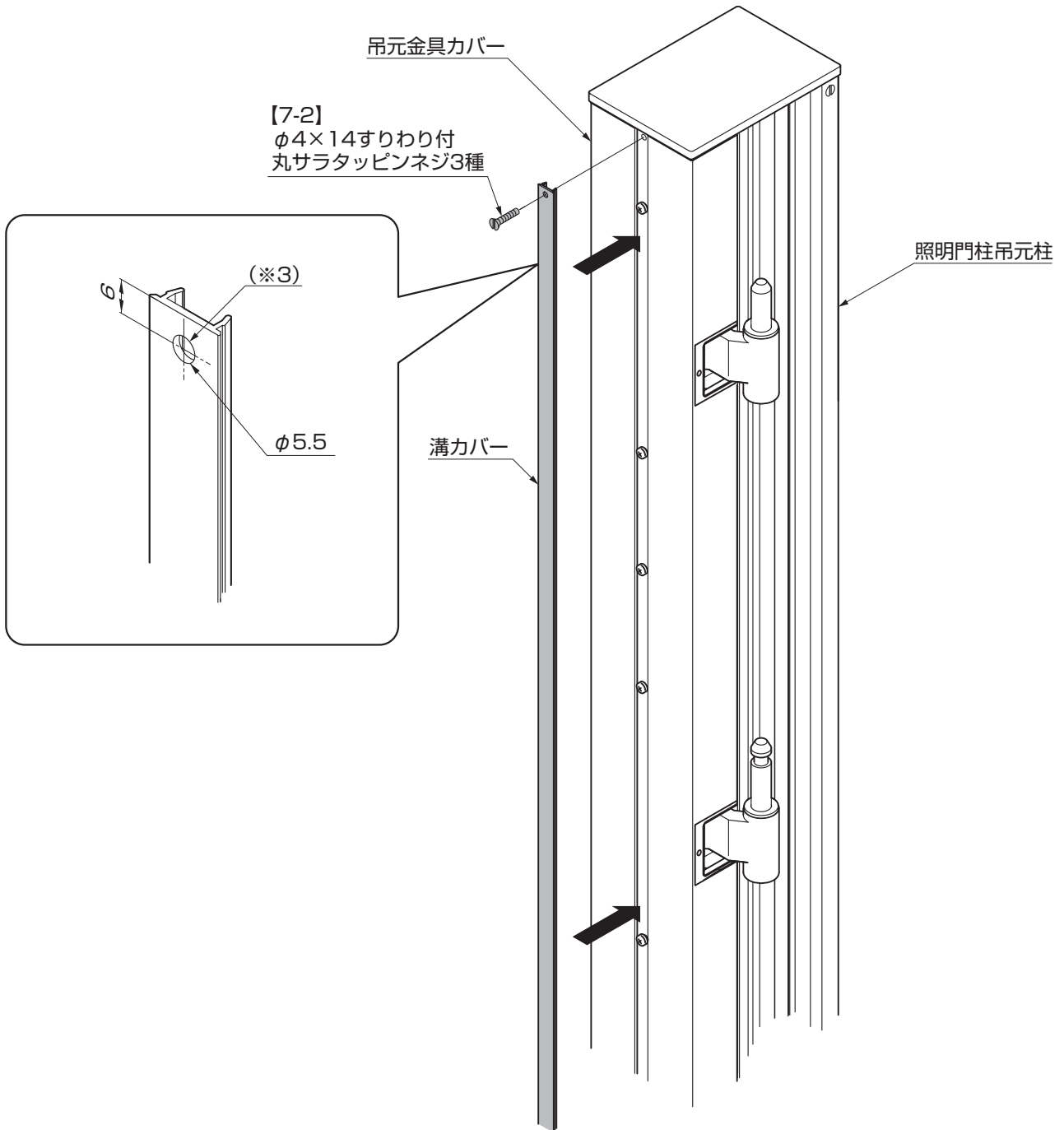
●吊元門柱の天端と高さが合うように取付けてください。

●吊元金具カバーは柱キャップ取付孔(※2)があいている方が上側になるように取付けてください。

②吊元カバーの切り欠き加工部に切欠き保護金具を【4-2】で取付けてください。

9. (つづき)

9-4 溝カバーの取付け



- ①溝カバーにキャップ取付用の孔をあけてください。(※3)
- ②溝カバーを吊元金具カバーの溝へはめ込んでください。
- ③門柱キャップBを【7-2】で固定してください。

取説コード

A456

JZZ615940E
200803A_1001
201706F_1049